

学年	教科	科目	教科書名	副教材名
高3 特進	国語	論理国語	探求 論理国語 (桐原書店)	下記参照

1. 授業のねらい

- ・2年次の学習をもとに、「読むこと」を中心により深め、それとともに、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の学習をバランスよく取り入れることで、適切に思考・表現する力と的確に理解する力を育成し、すべての学習・社会生活・人間関係を支える言語的基礎力を養う。
- ・論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- ・表現の多様性や様々な考えに触れ、言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して表現する能力を養う。

2. 授業のすすめ方

- ・単元に応じて、予習(漢字練習・意味調べ等)をしておくことを前提とします。
- ・授業を進めるにあたり、教科書・ノート・資料集を準備しておくこととします。
- ・教材によっては、理解を深めるために電子黒板やタブレットを利用し、主体的・能動的な学びができるような機会を設けます。タブレットを使用してコメントや解答の提出を求めます。

3. 学習上の留意点

- ・授業では多くの文章に触れる機会を増やすので、事前に熟読をしておくことが望ましい。
- ・授業に能動的に関わってもらうため発言やコメントを求めます。
- ・スタディサプリに積極的に取り組むこと。課題とすることもあります。
- ・志望校の入試問題を中心に過去問題に取り組み、傾向をとらえた上で、授業で自分の知識の不足部分を補うようにすること。

4. 副教材

『大学入試国語頻出問題1200』(いいづな書店)

大学入試に必要な語彙力、文学史の知識の定着を確認するために活用する。定期考査の範囲となることもある。

『大学入試に出た 核心漢字 2500+語彙1000』(尚文出版)

語彙を増やすとともに漢字の知識を身に付けるために活用する。小テストのテキストとしても使用する。

『新国語総合ガイド 五訂版』(京都書房)

文章を読む際に必要な知識や文学史などを体系的に理解するために使用する。

5. 評価方法

- ・定期考査、小テスト、授業(タブレットを使った発表等)で判断します。
- ・定期考査は100点満点で年に3回行います。
- ・平常点は1学期20点、2学期10点でつけます。課題の提出状況、確認テスト、小テスト、過去入試問題演習、授業(プレゼンテーション、発言等)を総合的に評価します。
- ・小テストでは漢字・語彙について出題します。※範囲及び実施日は後日配布する予定表を見てください。
- ・定期考査、平常点を基に「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点について学年末に評価します。

6. 定期考査

教科書の内容から出題します。応用問題も出題します。

※ 状況によって多少の変動がある場合があります。

- 1学期中間考査 評論Ⅰ, 応用問題
- 1学期期末考査 評論Ⅱ, 応用問題
- 2学期期末考査 評論ⅢⅣ, 応用問題

指導計画

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	四月	<p>評論Ⅰ</p> <p>○人間の想像力</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章の内容を叙述に即して的確に読み取り，必要に応じて要約する。 内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を正確に把握する。 筆者の主張を踏まえて，自身で意見をまとめた文章を書く。 目的や相手に合った分かりやすい説明について考える。 	<p>小テスト</p> <p>定期テスト</p> <p>ロイロノートによる提出物</p> <p>問題演習</p>	<ul style="list-style-type: none"> 文章の論理構造に着目して評論文を読み解く力を養う。 論の展開にそって，筆者の主張をまとめる。 筆者独自の考え方や見方を通して，さまざまな事柄に問題意識を持ち，ものの見方を養い，自らで考える力を養う。 理解，表現する上で必要な語彙力を養う。
	五月			
	六月	<p>評論Ⅱ</p> <p>○都市に生きる人間</p> <ul style="list-style-type: none"> 語句や語彙の構造や特色，用法及び表記の仕方などを理解し語彙を理解する。 長めの文章であっても，主題を的確に把握できるように読解する。 筋道を立てて物事を考察し，論述することの意義と大切さを理解する。 		
	七月			
二学期	九月	<p>評論Ⅲ</p> <p>○芸術と向き合う</p> <ul style="list-style-type: none"> 抽象度の高い文章を的確に読解する。 比喩や具体例などの文章表現，図表や写真などの説明資料について学習する。 	<p>小テスト</p> <p>定期テスト</p> <p>ロイロノートによる提出物</p> <p>問題演習</p>	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成や展開を意識しながら，論理的な文章を書く方法を学び，そこで扱われている問題に関する考察を深める 理解，表現する上で必要な語彙力を高め，表現効果や資料の活用について考察する。 分かりやすい説明や表現を工夫したり，話し合いの仕方や結論の出し方を工夫したりする。
	十月	<ul style="list-style-type: none"> 具体例や引用の意味を押さえながら，論旨を正確に読み取る。 筆者の主張を的確に読み取り，必要に応じて要約する。 		
	十一月	<p>評論Ⅳ</p> <p>○現代社会のひずみ</p> <ul style="list-style-type: none"> 筆者のものの見方や感じ方，表現の特色に注意して読解する。 他の社会と比較することで，さまざまな事柄に対する問題意識や考え方があることを理解する。 		
	十二月			
三学期	一月	卒業前教育を実施		
	二月			
	三月			

※シラバスの内容（時間や事項）については，理解度やその他の都合により省略や前後することもありうる。